様式３(2020.06改)

作成日　令和　３年　１０月　５日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392700049
事業所名	医療法人三善会グループホームふるかわ

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	運営推進会議のメンバーである民生委員に電話をかけて近況を尋ねたり、散歩コース付近の畑で農作業する老人会の会長と立ち話をして地域情報を確認していますが、「今は何もやっていない」との確認に留まっています。「資源カフェ」も短縮時間となって利用者を同行できず終息が待たれるなか、それでも事業所には花や野菜も届いていて、これまでの地域交流の貯蓄に支えられています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	昨年の７月、９月、１１月は集まっての運営推進会議ができましたが、本年１月から今日に至るまで書面開催が続いています。管理者と計画作成担当者、介護支援専門員、ユニットリーダー等、その時集まれる３名ほどで２ヶ月分の活動を報告書にまとめ、市役所（eメール）、地域包括支援センター（ＦＡＸ）・民生委員（郵送）へと届けています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	国からはマスク、愛知県からは消毒液が届いたほか、感染対策支援金の補助により空気清浄機などの購入に至っています。地域包括支援センターからは空室の問い合わせが入るほか、地域の居宅介護支援事業所の困り事にあたり事業所が仲立ちしての相談解決や、未だ入居は早い場合に「在宅系の施設も紹介してもらったらどうか」と、地域包括支援センターを紹介した例などあり、連携が叶っています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	コロナ禍以前には、家族にはリビングや居室で過ごしてもらい、おやつを一緒にといったことが日常にありましたが、現在は玄関先や面会室での短時間としています。「会えてはいる」ため家族から面会に係る要望はなく、他も何かということもありません。利用者には、テレビ番組やCMを観て「あれ食べたい」との声があればうどん弁当やフルーツサンドのテイクアウトに走り、また絵手紙という新しいメニューを開拓してアクティビティ時間を増やしています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	―	―	―	―	―	―	―	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									